

子ども食堂の実態

相澤つかさ 天野綾那 飯田優菜 石井美桜

活動目的

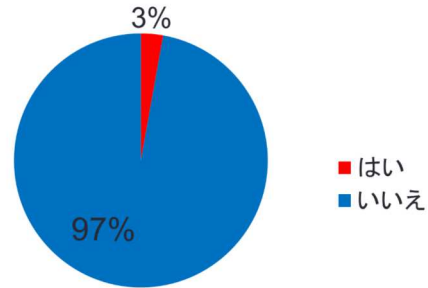
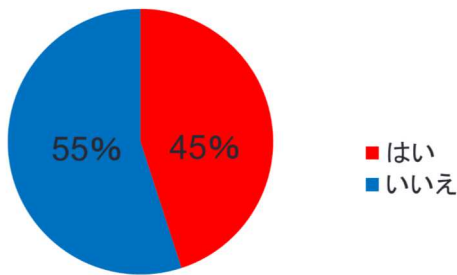
- ・子ども食堂がこういった活動なのかを知り、実際にボランティアを体験してみる。
- ・子ども食堂を少しでも知ってもらえるようにする。

「子ども食堂」って？

子どもから大人まで、誰でも利用でき、無料安価であたたかく、栄養のある食事や団らんを提供している社会活動のこと。(wikipediaを参考に要約)

アンケート「子ども食堂を知っていますか？」

アンケート「子ども食堂に参加したことはありますか？」



アンケート「子ども食堂に対するイメージ」

良いイメージ

- ・子供が好きなメニューが出る
- ・いろんな人と仲良くなれそう

悪いイメージ

- ・経営が難しそう
- ・大人が利用しにくそう

正しいイメージ

- ・アットホームで暖かい場所
- ・料理教室みたいなどころ

間違ったイメージ

- ・家庭の事情がある子供だけが利用する
- ・子供が経営している

山梨県の子ども食堂



(子ども食堂ネットワーク参考)

「つる食堂」とは

主催 → 都留文科大学の学生・耕雲院の方

場所 → 都留市夏狩の耕雲院

頻度 → 月に1、2回

理念 → 「誰でも来れる子ども食堂」



体験してみても・・・

- ・子どもだけでなく、大人も来ていた
- ・ただ食べるだけでなく、地域の人との繋がりも得られることが分かった
- ・さまざまな年齢の方が来ることを配慮した工夫がされていた(カレーの甘口・辛口など)
- ・子どもに配膳させるなど、お手伝いの場を設けることで基本的なマナーを学べる場となっていた



- ・カレー
- ・野菜のナムル
- ・スイカ



- ・炊き込みご飯
- ・豚汁
- ・きんぴらごぼう



調理の様子



大人や外国人の方

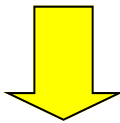


子どもたち

子ども食堂の役割

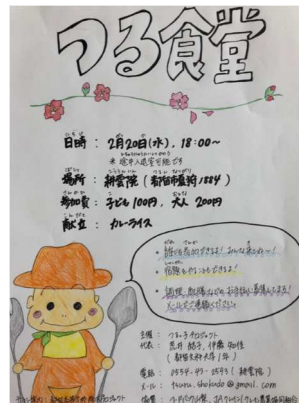
学校 偏った友好関係

家庭 孤食、個食といった「こ食」問題

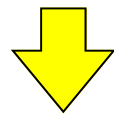


- ・幅広い世代の人と交流することで、知識が広がる
- ・大勢で食べることで、会話がはずみ、「こ食」問題を防ぐ

普及活動



子ども食堂のない大月市の方々にしてもらおう!



ポスターを作り、大月東小学校の配布しよう

活動のまとめ

- ・子ども食堂の社会的役割を実感できた
- ・これからの活動や、利用者が増えるような普及活動に積極的に参加していく